

# Phoenix Club



東広島キャンパスは「サクラの名所」。春には、約1000本のサクラが咲き誇ります。ゆっくりと、キャンパスを散策するには絶好の季節です。

ここから、  
はじまる。  
ここに、  
還る。

## 贈る言葉

先輩×後輩

## 「満喫」しよう。

### 大学時代に何をやりましたか？

これは、就職面接での質問の定番で、「就職試験のために何かアピールできることをしなければ」と考える学生もいるようですが、それは違います。一生懸命打ち込めば、アピールできるのです。

バイトばかりやるのもいい。大事なものは、そこから、何を得るかということ。居酒屋のバイトでスタッフのローテーションとかまで考えるようになったら、それは立派な「何か」ですよ。

### 半地下の友だち

ぼくが学生時代を過ごしたのは東千田町（広島市）です。

当時の総科には、「半地下」と呼ぶ、1、2年生のたまり場がありました。暗い場所で、何となく、いろんなヤツが集まって来ていた。ぼくは探検部で、その近くに部室があったので、時々そこに行つて、しゃべっていました。目的があるわけじゃなく、有意義というわけでもないけど、それはそれでいい時間だった。その時の友だちとは、今でも往来しています。

### 先輩から



総合科学部58年卒業  
松下 裕さん  
日本電気株式会社  
第一製造ソリューション事業部  
統括部長

「大学祭でたこ焼きを売って、これだけの利益を上げ、こういうことを学んだ」と、非常にうまくまとめた学生に対して、松下さんは「こりゃダメだ！」と断を下します。「3日間、せいぜい1週間！ 4年間のまとめがたったそれだけか」って。それよりも、「少年時代からずーっと野球一筋でやってきて、甲子園で優勝した。ただし、控えのピッチャーなんです」という某私立大の学生にグッと来て、さらに「野球だけじゃダメだと思ってアメリカに2年留学しました」というトドメの言葉に、「拍手喝采、二重丸」をあげたそうです。「コレをやった」というアピールだけでなく、人間としての地道な積み重ねを評価したい——就職活動中の私としては、松下さんのお話はとても新鮮でした。

### 満喫した人と中途半端に過ごした人。その差は大きい。

現在、NECの採用活動で3次面接官もしているそうで、かなり厳しい言葉をいただきました。

### 後輩から

総合科学部3年生 見世梨沙さん



大学4年間、やり残したことはない。こう言い切った松下さん。お話を聞いて、ナットクしました。探検部で激流下りやケイビング(洞窟探検)、また「政治的探検」としてイラン・イラク戦争の前線に行ったり……。そこまでやったら、悔いはないだろうなというくらい、密度の濃い4年間を過ごしたのですから。しかも、ホメイニ師(イラン革命指導者)に関するプロパガンダや現地の人々の意識など、イランで1カ月間暮らして見聞きしたことを、国際政治学の卒論にちゃんと活かしたというのが、さらにスゴイ。聞いているうちに、私もなんか、元気になるてきました。

株式会社 中国放送 代表取締役社長  
 安東 善博さん (1965年 教育学部卒業)

友だちの多さ、多彩さがモノを言う。  
 マスコミを目指すなら、  
 人間関係を広げることです。



「教師を目指すなら広大教育学部」  
 迷いはまったくなかった。

広大に入学したのは昭和36年ですから、もう半世紀近くも経ちますね。  
 私、もともとは、教員になりたいくて、広大を目指したんです。「東の東京教育大(現筑波大)、西の広大教育学部」と言われたくらい、教員の育成には実績と伝統がありましたからね。名だたる先生方もおられたし。  
 入試は、今と違って6教科9科目。そりゃ、一生懸命勉強した。そのころは、合格発表を見に来られない受験生のために、先輩たちがアルバイトで台番通知の電報を送ってくれるんですが、「サクラサク」という電報を受け取ったときは、もう嬉しくて嬉しくて、家を飛び出しましたよ。  
 当時は、今みたいに「大学行くのが当たり前」という時代じゃなかった。高校は下関市の進学校でしたが、それでも国立の二期校に進学したのはクラスでも数人。姉弟4人の中で大学に進んだのは私1人です。そんな時代ですから、合格の喜びも、今の皆さんの何倍も大きかったと思いますよ。

人に会っていろんな話が聞ける。  
 新聞記者への方向転換に悔いはない。

そんな思いで広大に入ったのに、結局、教師にはなれなかった。在学中に学生運動をしたからだという人もいたが、成績の問題かもしれないがね。(笑) まあ、なんとか、中国新聞社に入社できて、記者としての人生が始まった。  
 新聞記者の仕事は面白かったねえ。教師を目指していたことなんか口コソッと忘れて、どんどん仕事に夢中になっていきました。  
 何が面白かったか——うーん、いろいろな人の話を聞けること。それが一番かな。  
 記者という仕事は、人の話を聞くところから始まるでしょう。取材を通して、本当にさまざまな人の話を聞くことができました。記者でなければ聞けないような話を聞くこともできた。聞くことは仕事ですが、同時に、それは自分自身の栄養源にもなる。ものの方、考え方も変わってきて、それが仕事に反映されていく。  
 それ以外にも、いろいろないい出会いがありました。一杯飲みながら先輩に教えてもらったこと、

同僚と議論があったこと、すべてが栄養源となって、自分という人間を形成してきたのだと思います。

記者と経営者、方向は違っても  
 新しい世界は刺激的です。

もちろん、楽しいことばかりじゃない。張り込みで地べたに座ることも慣れたし(笑)、失敗もした。でも、仕事がイヤだと思つたことはありません。このまま、一生、記者として書いていきたいと思つていました。

しかし、途中で新聞からテレビへと足場を移すことになり、おまけに経営を学ぶことになつてしまった。でもね、これがまた、面白いんですよ。会う人も話題も、記者時代とは違つてきて、新しい世界が広がった。素晴らしいチャンスだと思つています。

もちろん、記者として一生書き続けてきた先輩や同僚は「カッコイイ」ですよ。本を出版したり、私の知らない高みの世界を知つていったはずですよ。ただ、それは違う方向でも、可能性は広がつているということですよ。

人に会おう。話を聞こう。  
 心を聞いて、人間関係を築こう。

皆さん、友だち、いますか。グチをこぼしたり、甘えたりできる友だちや先輩です。きっと、少ないでしょう。  
 アタマで人を分類していませんか。自分の方から、心を聞いていつてますか。



若い人たち、一般的に、人間関係を築くのがヘタだと思つてますね。全体に、おとなしくてスマート。人と話すのも得意じゃないように見えます。

若い社員に「先輩と飲みに行かないのか」と聞いたら、「誘つてくれない」と言つてますよ。「おごつてくたさいよ」と、甘えればいいのに。先輩が遠慮しているのか、若い社員たちが遠慮しているのか。

マスコミを志望する学生も多いと思いますが、大学時代にしっかりといろいろな人と触れて、目、耳を開いて、人の話をいっぱい聞きたい。ただし、自分勝手に解釈しないこと。独断はいけない。自分の考えを発展させるためには、やはり、キャリアが必要ですよ。

インタビューも大事だけど、もっと遊んでもいいんじゃないですか。いろいろな人の話をたくさん聞いて、自分を肥やしていきましょうよ。ウチでも学生アルバイトはしっかり募集している。(笑) チャンスはいろいろありますよ。

### 安東社長の広大生時代

下関西校から広島大学へ。高校社会科の教師を目指す。教育学部だが、ゼミは当時の政経学部・中野清一先生の社会学。中野先生からは大きな影響を受けた。

テニス部に所属し、中四国大会でベスト8になったことも。学生会の役員としても活動。体育会設立を巡つて学生運動の活動家と激論を交わしたことも、今では「まき思ひ出」。

卒業後、(株)中国新聞社に入社。報道畑を歩いた後、1999年、取締役として中国放送へ。2007年、代表取締役社長に就任。



教育学部時代の安東社長。学生証に貼っていたのはこの写真だった。

### 中国放送プロフィール

昭和27(1952)年設立。広島で最も歴史のある民間放送局。ラジオとテレビ、2つのチャンネルを持ち、どちらも「RCC」の略称で親しまれている。

2002年にはISO14001(環境マネジメントシステム)を取得。社内での環境負荷軽減活動を徹底させるとともに、地域で環境保全のために活動している人々たちを支援する「RCCエコロジーフアンド」を設立。こうした企業活動が評価され、民間放送連盟から『放送と公共性』の番組部門で優秀賞を授与された。



広島大学の後輩たちが社長就任を祝ってパーティーを開いてくれた。その時贈られたイラストは社長室に飾ってある。

### インタビューの後で



森(教育学部) 学生に対しても、ちゃんと目を見て話を聞いてくださる姿勢に驚きました。「さまざまな人の話を聞いて給料がもらえる、素晴らしい職業！」として、記者への夢が膨らみました。

小田(教育学部) 「大学生のうちには世間で遊んで勉強しなさい」と言われたのが印象的でした。勉強はもちろんですが、仲間との付き合いや、大学生の間にはできないこともやっておこうと思えます。

白石(教育学部) 安東社長はとてもフレンドリーで、最初の緊張があつたという間に解けてしまいました。こんな素敵な先輩にインタビューができる機会が持てて、とても良かったです。

小島(法学部) 「友だちでも先輩でもいい、甘えられる人を持つ」と安東社長はおっしゃいました。私も、自分から心を開いて積極的に人と関わっていくこと、決めました。

見世(総合科学部) 折しも就職活動中。お話をうかがって、「働く」ということは「自分の生き方を自分自身で決めることだ」ということに気づきました。自分にとって生き方を考えるいいチャンスでした。

## 地元企業で 縦・横につながっている

# 広楓会

政経学部・法学部・経済学部、大学院法  
学研究科・経済学研究科・社会科学研  
究科などの卒業生で組織される。

法・経・政経卒同窓会

会員数:18,937名(平成20年1月25日現在)

会長 加藤 公敏



**月に一度の  
コミュニケーション**

広楓会は、広島大学の中でもコミュニ  
ケーションが密な同窓会のひとつ。とい  
うのも、地元広島の大企業や団体に  
就職した卒業生が多く、社内や経済界  
でのつながりが普段からも強いから。年  
に一度の総会や懇親会では、縦・横のつ  
ながりが育まれています。

特に、月に一度、第三木曜日に開か  
れる「三木会(さんもくかい)」は、会  
員のつながりをさらに強くするもので  
す。広楓会会員なら誰でも気軽に参加  
でき、情報交換や、日常の雑談を交わ  
しています。第一期卒業生から卒業した  
の若者、在学中の留学生まで幅広く  
参加しているの、若手には企業役員ら  
の話が、年長者にはフレッシュな話題が  
それぞれ刺激になっているんだとか。

広島から離れた卒業生も、転勤やU  
ターンなどで戻ってきたら、三木会に顔  
を出す人も少なくありません。地元企  
業の社長や重役になった卒業生も多いの  
で、自然と人脈も広がっていきます。

**肩書きのない  
人脈づくりができる**

「広報誌に載る前の情報交換もある  
し、業界の動きをいち早く知ることがで  
きる」と、できる限り広楓会の集まり  
には出席しているという会員もいます。

また一方で、「仕事に限らず、自分の  
領域を広げる、深めることができる。  
普段話す機会のない年の差があっても  
年齢を乗り越えて話はずむこともあ  
ります」と、広楓会幹事の塚本直美さ  
んは言います。

会社名や肩書きのとれた関係を築く  
ことは、社会に出るとなかなかチャン  
スがありません。しかし、ここには、同じ  
広楓会のメンバーというだけで、みんな  
が「何かあったら手を差し伸べてやろう」と  
いう雰囲気があります。そして、時に  
はそれがビジネスチャンスにつながるこ  
ともあるそうです。

これまで広楓会を支えてきた多くの  
先輩方は、これからの広楓会を作ってい  
く後輩たちを弟・妹のように温かく迎  
えてくれるでしょう。

◇三木会は、毎月第三木曜日18時30分からANAクラウンプラザホテル広島5階「桃李」で開かれています。

◆広楓会への入会申し込み・連絡先変更は事務局までご連絡ください。

〒739-8525 東広島市鏡山1丁目2番1号

広島大学法学部・経済学部気付 広島大学広楓会事務局 担当：上中達男

TEL：082-422-7111 内線5550 E-mail：kofukai@law.hiroshima-u.ac.jp

## 同窓会ニュース

### 尚志会百周年記念式典・記念講演会が開催されました

広島大学の前身である広島高等師範学校の同窓会「尚志会」が明治41年の創立から百年を迎えました。昭和7年からは広島文理科大学の卒業生も加わり、現在は、広島大学文学部・教育学部・理学部卒業生らを中心に活動しています。

平成19年12月1日、百周年を記念して、広島市中区の県民文化センターで、式典と講演会が行われました。約200人が参加した式典では、100年のあゆみがスライドで上映され、参加者たちは、教育者を育て続けた100年間の積み重ねをあらためて感じていました。

これまで、西日本の学校教育現場に多数の教育者を輩出してきた尚志会の活動は、100年という歴史の上に、今後ますます期待されていくことでしょう。

### 現役時代の知識を市民に伝授 広島大学マスターズ

広島大学の教職員OBらで組織された「広島大学マスターズ」が、東広島市教育委員会との共催で、市民講座を開講しました。4回の連続講座は初めてでしたが、「熟年代の健康と食べ物」「広島魚文化」など、市民の関心あるテーマで参加者からも「受講してよかった」との声が多く寄せられました。

これまでも、小学校などで出前授業を行い、現役時代に培った知識を、地域住民らに惜しみなく伝授しています。平成18年12月の発足から、東広島市の生涯学習やまちづくりに参加したり、広島大学と地域を結ぶ役割を担ったりと、精力的に活動。今後も豊富な知識と経験を生かして、活躍の場を広げていく予定です。

### 「卒業生名簿整理へのご協力をお願いします」

広島大学校友会では、校友間の交流事業の一環として卒業生名簿整理を行っています。卒業後の住所や名前などの情報について、専用フォーム「卒業生情報登録シート」またはメール等でご一報ください。  
卒業生情報登録シートウェブ版

U R L: <http://phoenix.hirodai.jp/koyukai/>

E-mail: [sec@phoenix.hirodai.jp](mailto:sec@phoenix.hirodai.jp)

(お名前(旧姓も)、ご住所、電話番号、卒業年、卒業学部、Eメールアドレス等)

※ご提出いただいた個人情報は、校友会及び同窓会の活動(校友間の交流支援、学生への就職支援)のみに使用させていただきます。個人情報保護法を遵守して厳正に管理いたします。

## 広島大学発 ビジネス新風

広島大学の研究をベースにスタートしたベンチャービジネスが成長中

# 「ヒトの肝臓を持つ マウス」で 創薬・再生医療研究を サポート



株式会社フェニックスバイオ 〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目4-1  
TEL082-431-0016

### ●オンリーワン技術で世界市場へ

ヒト肝臓を持つPXBマウス生産と、それを使った医薬品開発のための試験受託が、フェニックスバイオのコア技術。B型・C型肝炎の治療薬開発や肝臓再生研究への利用を想定して、広島大学理学研究科の吉里勝利名誉教授の研究をベースにスタートしました。

蔵本健二・代表取締役社長によれば、「70%以上ヒト化した肝臓を持つマウスをつくれるのは、世界でも当社だけ。まさに「オンリーワン技術」です」

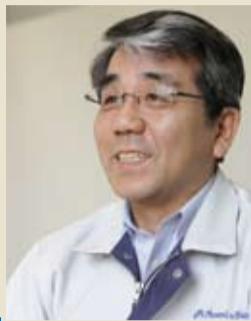
その言葉どおり、2004年日経優秀製品・サービス賞、第4回日本バイオベンチャー大賞などを受賞。2004年にPXBマウスを使った受託研究事業を開始して以来、順調に業績を伸ばし、昨年夏には本社工場を新設。日本国内だけでなく、海外市場での需要も伸びています。ベンチャーファンドなどからの資金調達も順調で、当初1000万円の資本金が、今や約10億円。IPO(株式上場)を足場にアメリカへの拠点拡大を目指しています。

### ●大学発の技術を咲かせる

蔵本社長自身、京都大学農学部で繁殖学を修めた人。その後、長年にわたって、商社で食料関係のビジネスの開発・育成に携わってきたとか。

「大学発の事業には2つの局面がある。まず、科学的評価を受ける局面。これは大学の中でできる。しかし、これを事業化する

代表取締役社長  
蔵本 健二氏



るとなるとまったく異なる発想が必要です。大量に均質の製品を生産する技術、元々の技術のコンセプトを理解させる技術……。しかも、ベンチャーにはスピードが必須。今使えるものを、ニーズに応えられるだけ提供できなければ意味がない」——つまり、大学の知識や技術を事業化するには、事業化のための専門技術が不可欠ということ。蔵本社長のベンチャービジネス論は、この夏、広島大学で受講できる予定です。



PXB マウス

ヒトの肝臓を移植したキメラマウス。従来、人間とチンパンジーにしか感染しないといわれてきたB型・C型肝炎ウイルスの感染・複製メカニズムの研究や、治療薬開発に寄与する。

## 「ハイプロスペクツ」って、何

「ハイプロスペクツ(HIPROSPECTS®)」とは、「到達目標型教育プログラム」という広島大学独自の教育システムです。卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として明確に示して、これまでの授業科目の成績評価だけでなく、到達目標に対する到達度を測りながら教育していくもので、平成18年度から導入されました。何が、どのくらい、身についたのかを実感しながら学習していくことができます。

また、「ハイプロスペクツ」は、専門領域にとらわれず、学部学科の枠を超えて興味のある分野を学ぶことができます。これからのことも大きな特徴です。これからの

社会に求められている高い専門性はもちろん、広い視野を持った学生を輩出していくことも目指しています。

### 「ハイプロスペクツ」には 3つのプログラムがあります。

●「主専攻プログラム」は、学士号の取得を目的として、教養教育及び専門教育が一貫して編成されたプログラムのことをいいます。学生は必ずひとつの主専攻プログラムを学びます。

●「副専攻プログラム」は、成績などの一定の基準を満たした3年次以上の希望者を対象として、主専攻プログラムに匹敵するほどの内容を習得するためのプログラムです。例えば、理工系の学部に入學しても、自分の主専攻プログラムを学びながら文学や経済などの専門分野についても学ぶことができます。

●「特定プログラム」は、成績などの一定の基準を満たした2年次以上の希望者を対象として、主専攻プログラムでは専門的に扱わない分野の学



広大生も知らない「広島大学の特色」を、校友会員に知っていただくコーナー。



「HIPROSPECTS」は、広島大学の登録商標です。「ハイプロスペクツ」のコンセプトとして、「みえる・つながる・つかえる」を掲げています。詳しくは専用のウェブサイトをご覧ください。  
URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/index.html>

習、又は、資格の取得を目的としたプログラムです。前者を目的とするものの例としては、国際協力に関するものや高度な英語能力を養成するものなどがあります。後者を目的とするものの例としては、学芸員や図書館司書教諭等の資格を得るためのものがあります。

# 広島大学の6ヵ月間が一日でわかる

# PHOENIX通信



## 「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」始動

多くの卒業生が学生時代を過ごした広島市中区東千田町の広島大学本部跡地が、「知の拠点」として生まれ変わります。学生・社会人を問わず「知」を求める声に応えるため、広島地域の大学が連携して、国際大学院や社会人教育センター、研究機関などを設置することが計画されています。このほか、住宅棟も整備される予定で、広島市中心部ということもあり、地域活性の拠点としての期待も高まっています。

広島大学と広島市、アーバンコーポレイションなどとの協定のもと、2012年度の完成をめざします。

## トランジスタモデル「HiSIM-LDMOS」が国際標準モデルに

大学院先端物質科学研究科の三浦道子教授が主導し研究開発した「HiSIM-LDMOS」が国内初の国際標準に選定されました。半導体理工学研究センターと産学連携で進められた研究の成果が、

世界トップレベルであることが認められたのです。高精度のトランジスタモデルは、エネルギー消費問題の解決に役立つといわれており、今後世界の大手メーカーで「HiSIM-LDMOS」を使った製品が作られるでしょう。

## 広島大発 新発見・研究開発が続々と

### ●「月の進化モデル」の再考を促す重要な発見

大学院理学研究科の寺田健太郎准教授が、「月の火山活動は43億年前にあった」と英国科学雑誌ネイチャーに発表し、39億年前としていたこれまでの定説を覆しました。



### ●ノロウイルスを柿渋で抑制

大学院生物圏科学研究科の島本整准

教授が、柿渋に含まれるタンニンがノロウイルスに対する不活化効果を持つことを発見。食物由来で口に入れても安全な特性を生かしてスプレーとして商品化もされました。

### ●絶滅危惧種イシカワガエル 人工繁殖で新たな可能性

両生類研究施設の住田正幸教授らが、天然記念物のイシカワガエルの人工繁殖に成功しました。種の絶滅を防ぐだけでなく、皮膚から採取される抗菌剤や、透明個体のカエルなどを使った、新たな産業での展開も期待されています。

## 広島大学独自の奨学制度「広島大学フェニックス奨学制度」を導入

2008年度から学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学が困難な人を対象とした広島大学独自の奨学制度が導入されます。この制度は、毎年、大学が定める二つの基準（学力・家計）を満たしている学部新入生のうちから若干人を奨学生として選考し、入学金及び在学中の授業料の全額免除に加え、月額10万円の奨学金を給付するというも

ので、奨学生に採用されれば、経済的な心配をすることなく勉学に励むことができ、さらに、学部卒業後、引き続き、本学大学院に進学した場合には支援を継続して行います。

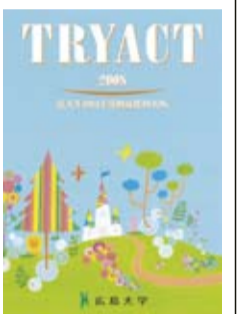
## フロントランナープログラム (FRP)

FRPは豊かな人間性を備え、21世紀の国内外の様々な分野で活躍できる人材「フロントランナー」の育成を目指した、教育プログラムです。FRPでは、募集テーマにそった主体的・提案型プロジェクトを学生から公募します。

詳細は、下記 URL からアクセスを。  
<http://www.careergp.hiroshima-u.ac.jp/>

問い合わせ先

キャリアセンター  
TEL082-424-4214  
2007年度の活動報告書もあります。ぜひ読んで応募しよう。



## 一人ひとりのキャリアデザインをサポートしています

キャンパス

### フロントランナープログラム

学生時代にさまざまな経験をしたという学生のための「フロントランナープログラム」も、キャリアセンターの事業。学生からの提案を検討して、選定されたプロジェクトに対して支援を行うもので、大学教育の充実のための優れた取り組みとして文部科学省が選定する「現代GP」に選ばれました。

すでに平成19年度、18のプロジェクトが実施され、成果を上げました。中には、新聞やテレビでも取り上げられ、大学だけでなく地域への広がりを見せたものもあります。

### キャリアデザインノート

学生が自分自身の手でキャリアデザインをするためのワークブックとして『キャリアデザインノート』を2年生全員に配布します。教養教育科目「職業選択と自己実現」「インターンシップとキャリアデザイン」のキャリアア



関連講座の受講とあわせて活用してください。

### 就職活動をしつかりサポート

もちろん、就職ガイダンスやセミナー、インターンシップなど、就職活動のサポートも、キャリアセンターの重要な役割。近年は就職環境が好転していますが、学生たちが描いたキャリアビジョンにより近づく仕事に出合えるよう、キャリアセンターは活動を続けています。

新入生の皆さん、あなたの夢に近づくために、キャリアセンターを訪れてください。

## 校友会事務局から

### ホームカミングデー開催の報告

平成19年11月4日(日)、東広島キャンパスのサタケメモリアルホールで、第一回広島大学ホームカミングデーを開催しました。午後一時に広島大学吹奏楽団によるオーブニング演奏が始まった記念式典は、約八十人が出席し、浅原校友会会長による大学の近況報告が行われました。その後、広島大学東雲混声合唱団と来場者全員で広島大学歌を合唱し、最後に応援団とチアリーダーの演技で閉幕しました。

### 会員への入会記念グッズ配布について

校友会へ入会された方へ、会員証や入会記念グッズを配布します。先着順のものもありますので、早めに受け取りにきてください。詳細は次のとおりです。  
配布時期 平成20年5月頃(予定)  
配布場所 総合科学部事務棟又は講義棟(予定)

引き続き、一般の方にも公開して開催された記念講演では、約二百人が参加し、JICA副理事長で、前国連特命全権大使の大島賢三氏が「国連大使の任務を終えて」と題して講演されました。平成20年秋には、第二回広島大学ホームカミングデーを予定しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

### ウェブでの卒業生情報登録を開始

校友間の交流事業の一環として、卒業生名簿整理を行うこととしており、本学卒業後の情報の提出にご協力いただきたく、左記のURLにて専用フォーマットを作成いたしました。  
<http://phoenixhiroai.jp/koyukai/>

広島大学校友会のホームページからも、卒業生情報登録シートと併せて、卒業生情報や開催日程等のお知らせは、校友会ホームページに掲載可能です。この機会に、再会を喜び合い、懐かしいひとときを楽しんでみませんか。

## 編集後記

◆第2回広島大学ホームカミングデーは、平成20年11月2日(日)を予定しています。11月1日～3日は、広島大学大学祭も開催予定ですので、たくさんのご来場を心よりお待ちしております。  
◆卒業生の方々にお目にかかる機会が多くなりました。知らなかった広島大学の以前の姿をお話いただき、刺激を受けているのですが、同時に、現在の広島大学が知られていないことも思い知らされています。「コミュニケーション」の大切さを痛感しました。

広島大学校友会 により

# Phoenix Club

『Phoenix Club』Vol.2  
平成20(2008)年3月10日発行  
(年1～2回発行予定)

編集・発行: 広島大学校友会事務局  
〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号  
TEL(082)424-6015 FAX(082)424-6020  
月曜日から金曜日8:30～17:00(祝日を除く)

Mail ● [sec@phoenix.hirodai.jp](mailto:sec@phoenix.hirodai.jp)  
HP ● <http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>